

高校生との意見交換会を開催

2月14日(日)に市内の高等学校4校5グループの生徒と議場等において様々な課題について意見交換を行いました。意見交換会は3部構成で第1部では各高校からの意見発表(全体会)、第2部では各校の生徒と議員とで発表された内容について意見交換、第3部ではまとめを行いました。今回の意見交換を踏まえ議会活動の活性化はもとより、市の政策向上に向けて活用して参ります。

◆高山工業高校

テーマ：継承する飛驒の匠と技

【概要】機械科、電気科、電子機械科、建築インテリア科が行っている教育活動を紹介し、各科で行った地域との交流事業を説明する中で、市への要望事項(木工業等地場産業の振興及び企業誘致の必要性)を発表。

【意見交換を通じたまとめ】

飛驒高山ブランド戦略において、地域や産業のブランド力向上をめざし取り組んでいる。今後も森林を活かしたエネルギー資源の活用や振興策を追求する。大企業の誘致は、地域の魅力をアピールし続け、チャンスを探るべきで地元企業を大きく育てるために、大企業と地元企業がコラボ出来るような施策も必要と感じた。



◆飛驒高山高校(山田キャンパス)

テーマ：安全・安心な高山のまちをめざして

【概要】環境科学科では、市・県・企業と連携し、防災研究に取り組んでいる。これまで学校周辺の橋梁の点検や市内の小学校(6年生)を対象としたDIG(災害図上訓練)による防災学習の推進を行ってきた。今回は、高山市のまちの安全性と市民の防災意識の向上について発表。

【意見交換を通じたまとめ】

「安全・安心な高山のまちをめざして」というテーマの部分について、森林の管理を推進するための施策の充実、危険個所の情報収集の方法について早く入手できるシステムづくりの必要性。また、防災意識の向上では、高校生の皆さんの力も発揮していただき、防災教育の場をつくることが重要であると感じた。



◆斐太高校

テーマ：学生が高山市に求めること

【概要】生徒会で斐太高生が最も市に望むことを話し合ったところ、交通機関(JRやバス、道路)の整備及び図書館やスポーツ施設の充実という意見が出た。その2点について、現状どういふ改善をしてもらいたいのか、改善するとどうなるのかということ、1・2年生を対象に行ったアンケート結果をもとに発表。

【意見交換を通じたまとめ】

進学等でほとんどが高山を離れる生徒さんに将来は高山に帰ってもらいたい。また、若い人が地元に戻り元気で活躍できるまちにしたい。そのため安全に関することは最優先に取り組む。また、人口減少や少子高齢化など多くの課題の中で、総合的に若者にとって暮らしやすいまち、若い世代を呼び戻すために真に必要な施策は何か。交通や施設整備を含め一歩踏み込んで皆で一緒に考え、こうした議論を継続する必要があると感じた。

